

峰のひかり

発行人

社会福祉法人 **七峰会**

理事長 大平 和夫

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21番地8

電話 (0172) 33-8861

FAX (0172) 33-8862

<http://www.shichihoukai.or.jp/>

『七峰会総合福祉相談支援センター ピリープ』として統合しました

平成27年4月1日より、障がい福祉サービスの介護給付や訓練等給付のサービスを利用される方については、サービス等利用計画の作成が必要となりました。当法人では、『拓光園グループ』『山郷館弘前グループ』『拓心館グループ』『旭光園グループ』『山郷館黒石グループ』『旭光園グループ』『山郷館黒石グループ』の各グループで、「指定特定相談支援事業」と「指定障害児相談支援事業」を実施しています。各事業所の相談支援専門員が、サービス等利用計画の作成、生活全般の各種相談といった内容でのお手伝いをさせていただいております。

「相談支援専門員」は、障がいを持つ方々の心身や、置かれている環境とニーズを把握し、ご本人の想いに沿いながら、総合的な支援を提供します。最も適切なサービスについて検討してサービス等利用計画を作成し、円滑なサービス利用ができるようサポートします。

さて、この度、平成28年4月より、弘前市で相談支援事業を展開してきた、『拓光園相談支援事業所』『山郷館相談支援事業所』『指定相談支援事業所ピリープ』

が統合し、『七峰会総合福祉相談支援センターピリープ』として、新たなスタートを切りました。3つの相談支援事業所が統合することで相談支援体制の強化を図り、地域の皆様の相談や多様なニーズに 대응していくことで、頼りにしていただけるような相談支援事業所を目指していきます。

お問い合わせ先

住所 弘前市熊嶋字亀田 184 の1
(就労サポートひろさき内)

電話 0172-82-5740

FAX 0172-82-5730

E-mail soudan-believe@takushinkan.jp



新年度の方針

社会福祉法人七峰会



理事長

大平 和夫

- 社会福祉法人の改革を柱とする社会福祉法の一部改正への動きを踏まえ、経営組織のガバナンスの強化等の対応を進めていきます。また、七峰会理念の具現化のために、障がい者支援や高齢者介護について各サービスの向上と環境の整備を進めます。
- 1、「障がい者総合支援センター「心館」(仮称)の施設整備
 - 2、「七峰会総合福祉相談支援センター「びりー」」の事業開始
 - 3、弘前市緑ヶ丘に障がい者を対象としたグループホームを開設
 - 4、平成29年度開始予定の「弘前市地域密着型サービス(小規模多機能型居宅介護)」の整備
 - 5、「デイサービスセンターわかば」におけるパワーリハビリ特化型デイサービスの事業開始
 - 6、法人内部研修の継続実施による人材育成
 - 7、社会福祉法の一部改正への対応、準備

拓光園グループ



総合施設長

木村めぐみ

開設41年目となる拓光園グループは、当時から施設を利用してきた皆さんの高齢化が進み、これからのどのように支援していくのかが大切で、人生を楽しく充実するには健康と身体機能の維持・向上を目的とした機能訓練が課題となります。「食べる」ことは大きな楽しみの一つではありますが、中には摂食・嚥下障害により誤嚥性肺炎のリスクが高くなっています。生活支援に携わるスタッフは、口腔ケアによる予防知識等を身につけて、健やかに日々を過ごすことができる支援を進めていきます。

また、拓光園グループでは地域で安心して生活を送れるよう、積極的な地域支援の促進を図るために、居住の場を提供し宿泊自立訓練を実施し、皆さんを支援していきます。

拓心館グループ



総合施設長

高橋 正安

今年度は、従来取り組んでいる障がい者雇用と地域生活支援に加え、定年等で離職した高齢障がい者の生活を支援していくため、バリアフリーで介護機能を備えたグループホームを開設します。

『児童発達支援センターはあと』では、お子さんの「気になる」段階からの発達支援を行うため、弘前市が実施する「ひろさき子どもの発達支援事業」を受託してセンター機能を強化します。

また、通勤寮拓心館を移転新築し、短期入所を含む宿泊施設、就労支援等を行う日中活動施設、総合相談施設を併せ持つ多機能施設にする準備の予定です。

あらゆる障がいの福祉課題に対応、解決できる拠点施設を目指します。

山郷館弘前グループ



総合施設長

工藤 伸役

1. 施設入所支援、在宅サービス利用者の障がい・疾病の進行や年齢に対応するため、「移動・食事」を中心とした介護の仕方や手順、環境を見直すと共に、職員のスキルアップを図ります。
 2. 計画にもとづく事業を実施します。特に、職員会議、内部研修を継続、計画的に進めます。
 3. 職員配置に必要な資格者を増やし、職員個々の職務分掌を拡げます。
 4. 利用者ニーズの変化に対応した施設機能の見直しと事業再編成を含めた、サービス、人材、財務、事業ビジョン等のグループ長期計画を策定します。
- (平成28年度～平成32年度)

旭光園グループ



総合施設長
油川 瑞緒

少子高齢化の進展に伴って家庭や地域の環境等あらゆる仕組みが大きく変容している状況で、平成28年度は、障害者福祉施策の変化に柔軟に対応し、地域の皆様から選ばれる事業所づくりを目指します。

現に、ご高齢になつて利用者の皆さんへの支援、身体障がいに限らず知的障がい・精神障がいをお持ちの方々に対する更なる支援の拡大、生活の場・働く種類や場を多様化できるように基盤づくりを進めてまいります。



サンアップルホームグループ



総合施設長
黒石 陽子

サンアップルホームグループは、「高齢者に不足する水分の確保」「オムツをしないで、トイレで排泄する」「家族と同じご飯を食べる」「歩く事を中心とした運動継続」による、元気になる自立支援介護（作年度より、「ひろさき認知症あんしん生活実践塾」でも取り上げました。）に取り組み、介護が必要となつても、尊厳が保持され自分らしく生きる事を支援してきました。

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、地域包括ケアシステム構築への取り組みをします。この為、確実に効果が期待できる個別サービスの提供を基本とし、専門的介護のノウハウの普及や多世代参加型コミュニケーションカフェ開催など、制度外の地域貢献活動を実施し、高齢者に限らず全ての地域の皆さんの一番身近で安心できる生活の支援を目指します。

山郷館黒石グループ

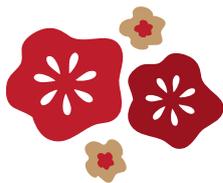


総合施設長
村山 敦子

地域福祉の拠点として、より多くの支援を必要とする障がい者の皆さんの地域生活をこれまで以上に積極的に支援していくために、今年度は短期入所の増床と通所利用者の生活介護を増員するための増築を計画しています。

併せて、福祉ホームやグループホームの環境整備と職員の育成を行い、施設から地域生活へ移行するための体験利用や、介護を多く必要とする皆さんが安心して利用できる体制づくりに取り組みます。

また、様々な活動や交流を通して、地域の中で「私たちが担える役割」を追求していきます。



平成二十八年
七峰会入社式・辞令交付式

爽やかな青空の広がる、平成二十八年四月一日、弘前文化センターにて平成二十八年度の七峰会入社式・辞令交付式が執り行われました。今年度は新採用となつた職員が十三名、昇任や任命、異動となつた職員が三十六名、計四十九名に辞令が交付されました。

式では、大平理事長より一人ひとりに辞令が交付され、「今回の辞令を受けて、選ばれたという自分の立場を大切にしながら、利用者さんや職員から信頼されるような存在になつて欲しい」との訓辞が述べられました。



シリーズ「かだる」

福祉の役割とは

拓光園グループ

総合施設長 木村めぐみ

Aさんは、3人姉妹の次女として東北で生まれました。発語が遅く、8歳時頃、知的障がい（軽度）と認定されましたが、両親は出稼ぎで不在がちであり、その間祖母に育てられたり他人に預けられたりと、成育環境はさまざまでした。

そういった環境とは裏腹にAさんは優しく素直な性格に育ち、身辺処理もある程度は自立していました。16歳になって、入所授産の施設に入居、福祉と関わる第一歩となります。その後、父の青森県転居に際し、Aさんも、同県の通勤寮入居となります。25歳でした。

そして、自立訓練を受けながら陶工業、弱電会社などに就労、平成4年から現在の会社に勤務しましたが、入所以来、精神的な幼さ、弱さを克服できず、痛みや病気の訴えにつながり、欠勤を繰り返しました。それでも地域生活へ向けた訓練が少しずつ身につく、アパートでの生活

実習を経て、グループホームに入居します。

就労生活を重ねるうち自信も持てるようになり、暖かい家庭を築きたい願望が強まって、別のグループホームで生活する男性と入籍しました。結婚披露宴では皆からの祝福を受けて満面の笑みで、「ようやく家庭が持てた」と話しました。現在も色々な支援を受けながら暮らしていますが、「ウチは色々あったけど、通勤寮に入ったおかげで今がある」と、時々振り返ります。

今回のケースは、私たちの支援を求め、大切な家族と離れて暮らしながら、自分の家庭を持ったというものです。利用者がいる以上、支援にゴールはありません。そしてその数だけ、支援の形は変わります。このことから「福祉の役割」とは軽々に語れるものではありません。一人ひとりの可能性を信じ、できるかぎり希望に沿う支援を常に心がけて行くことと思っていま



七峰会後援会定時総会報告

平成28年2月16日、「ホテルニューキャッスル」にて、平成28年度定時総会が開催され、平成27年度事業報告、収支決算報告と平成28年度事業計画案、予算案が可決されました。中でも七峰会事業への後援として、新事業に多額の援助が可決されました。



各施設グループのホームページでも情報発信中！



編集後記

昨年度は雪が少なく、春の訪れも例年より早く感じられました。新年度を迎え、法人各施設グループでは、これまでの取り組みをさらに深化させ、利用される皆さんや、地域の皆さんに福祉ニーズに応えようとしています。この峰のひかりが皆さんと様々なサービスをつなぐ架け橋になるよう、紙面を充実させていきたいと思います。

総合支援事業

- 青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター ☎45224
- 弘前市委託事業 弘前市障害者生活支援センター ☎24000
- 弘前市委託事業 弘前市北部地域包括支援センター ☎21000
- 黒石市委託事業 山郷館グループサポートセンターキャンパス ☎50620
- 山郷館地域活動支援センター ☎06208

障がい者支援事業

主に知的

- 拓光園グループ
 - 障害者支援施設拓光園 ☎23331
 - 拓光園生活介護事業所 ☎23331
 - 拓光園短期入所支援センター ☎23331
 - 拓光園障害児デイサービスセンター ☎23331
 - 拓光園日中一時支援事業所 ☎23331
 - 拓光園共同生活介護事業所 ☎23331
- 拓光園グループ
 - 津軽生活支援センター ☎45220
 - 就労サポートひろさき ☎45220
 - 自立訓練事業「通勤寮拓心館」 ☎45200
 - 児童発達支援センターはあと ☎57940
 - エイブル ☎90600
 - 上郷総合福祉支援センター ☎45220
 - 就労訓練施設「勇心学園」 ☎45220
 - 生活自立寮「コーポラスよるこ」 ☎45220

主に身体

- 山郷館黒石グループ
 - 障害者支援施設山郷館ろいし ☎30700
 - 山郷館総合支援センター黒石 ☎50100
 - 福祉ホーム「山郷館パレット」 ☎50800
 - グループホーム「山郷館ライズ」 ☎23344
 - 山郷館児童デイサービスセンターきさき ☎86550
 - 山郷館ろいし（短期入所） ☎30700
- 山郷館グループ
 - 障害者支援施設旭光園 ☎51555
 - 旭光園身体障害者短期入所事業所 ☎51555
 - 福祉ホーム「さわらび」 ☎51555
 - 旭光園相談支援事業所 ☎51555

高齢者介護事業

居宅介護事業

- 山郷館居宅介護支援センター ☎02550
- サンアップル 居宅介護支援センター ☎21331
- サンアップルホームグループ
 - 特別養護老人ホームサンアップルホーム ☎21111
 - サンアップル短期入居支援センター ☎21111
 - サンアップルヘルパーセンター ☎21111
 - サンアップルヘルパーセンター ☎37758
 - 認知症グループホームアップル ☎27758
 - 認知症グループホームセンターじょい ☎20103
 - 認知症グループホームわかば ☎11776
 - デイサービスセンターわかば ☎11765
 - サンアップル在宅介護支援センター ☎21131
 - 住宅型有料老人ホームわかば ☎18888